

令和3年度
笠間市教育委員会外部評価報告書

令和3年11月
笠間市教育委員会

目 次

1	目的	1
2	対象事業の選定	1
3	外部評価	1
4	点検・評価結果の公表等	2
5	教育目標	3
6	教育振興基本計画における施策の体系	4
7	点検・評価対象事業一覧	5
8	評価事業の結果	6
9	事業個別評価書	10
参考資料		
	評価事業に関する笠間市教育振興基本計画指標	20
	教育委員会の活動状況	22
	笠間市教育委員会外部評価委員会設置要綱	29

1 目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うことになっています。

また、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進と市民への説明責任を果たしていくこととされています。

笠間市教育委員会でも、この法律に基づき、令和2年度の教育委員会事務事業の点検及び評価を教育に関し学識経験者の助言等をいただき、教育行政サービスの質の向上と市民への説明責任を果たしていきます。

2 対象事業の選定

点検評価の対象事業は、笠間市教育振興基本計画に定める事務事業に基づき、令和2年度に教育委員会が行った主要な9事業を対象としました。

3 外部評価

外部の学識経験者で構成された「笠間市教育委員会外部評価委員会」により、各担当課の事業ヒアリングを実施し、評価事業を客観的に検証し、改善に対する意見及び提言等を行いました。

(1) 外部評価の視点

- ①事務事業の信頼を確保するため、内部評価を客観的に検証します。
 - ア. 事務事業の設定は適切か
 - イ. 指標の設定は適切か
 - ウ. 現状の把握や課題の認識がされているか
 - エ. 分析を踏まえ、論理的な方向性が選択されているか
- ②職員の意識改革・事務事業の改善につなげるため、課題解決への取組を検証します。
 - ア. 事務事業が課題解決の手段として妥当か
 - イ. 事務事業の実施方法は妥当か
 - ウ. 事務事業の効果、効率性は適切か
- ③基本計画に記載されている数値目標を含む事業について、指標を評価します。
 - ア. 指標の設定は適切か
 - イ. 目標値、見込値の設定は適切か

- (2) 外部評価委員会 開催日 令和3年10月8日(金)
場 所 笠間市役所/教育棟 2階 教育委員会室

(3) 外部評価委員会委員(敬称略)

職 名	氏 名	備 考
委員長	菊 地 利 幸	茨城大学教授
副委員長	木 村 由 希	常磐短期大学准教授
委員	犬 塚 晶加里	デザイン会社経営
委員	檜 山 紘 子	元笠間市PTA連絡協議会長
委員	川 又 義 祐	元笠間市校長会長

4 点検・評価結果の公表等

(1) 議会への報告

点検・報告の結果については、報告書を作成し市議会へ報告します。

(2) 公表

報告書を市ホームページにより公表します。

5 教育目標

知性を高め ひとりひとりのもちまえを伸ばす

「知性を高め」とは

学校教育を含め、生涯にわたって学びの力を培うという観点から、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を身に付けていくことをいう。

「もちまえを伸ばす」とは

その人が持っているよさ（個性）を大切にするとともにそれが発揮できるようにすることをいう。

自然や文化を大切にし 郷土を愛する心をつちかう

「自然や文化を大切に」とは

（市民憲章にあるまちづくりのねがいとも重なる）生まれ育った郷土である笠間の自然や歴史と共にはぐくまれた文化を大切にし、未来に受け継いでいくことをいう。

「郷土を愛する心をつちかう」とは

笠間の自然や文化を大切にし、ふるさと笠間を愛する心をつちかい、郷土の発展に努めることをいう。

豊かな感性をはぐくみ 健やかな身体を養う

「豊かな感性をはぐくみ」とは

自らを律しつつ、社会の一員としての責任感や規範意識を持ち、他人と共に協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな感性(人間性)をはぐくむことをいう。

「健やかな身体を養う」とは

たくましく生きるための健康や体力をいう。

6 教育振興基本計画における施策の体系



※ 「施策の方針」ごとに設定している「主な取組」については、新規・拡充事業がある取組を優先に抜粋しており、さらに数値目標については、毎年、または定期的に観測が可能なものを設定しております。

- (1) 図書館
 - ①図書館サービス事業

- (2) おいしい給食推進室
 - ②給食管理事業

- (3) 公民館
 - ③公民館講座運営事業（友部）

- (4) スポーツ振興課
 - ④かさま陶芸の里ハーフマラソン大会事業

 - ⑤スポーツ推進委員活動支援事業

- (5) 生涯学習課
 - ⑥成人式事業

 - ⑦筑波海軍航空隊展示運営事業

- (6) 学務課
 - ⑧適応指導教室事業

 - ⑨G I G Aスクール整備事業

8 評価事業の結果

①図書館サービス事業（図書館）

評価結果

現行どおり継続

意見・提案事項（抜粋）

- コロナ禍においていろいろ工夫されている状況がわかった。
- 気軽にそして楽しい図書館になるよう事業の継続をしていただきたいと思う。
- 居場所としての利用目的の多様化に伴う環境整備の視点を新たなものにしていく必要がある。アンケート調査などで利用者のニーズを適格に把握する必要がある。
- 電子図書館の高齢者も利用できる、利用したいと思える工夫があるとよい。子供、高齢者の家庭へのフォローが望まれる。利用案内に利用の流れの記載、ミニ講座、専用チラシの作成したらどうか。
- 電子図書館の学校教育との連携。小中学生を中心に講習会の開催してみてもどうか。（学校にいながら図書館資料を利用できる）
- 音声ガイドを利用した際、音読み訓読みの間違いがあった。改善を希望する。

②給食管理事業（おいしい給食推進室）

評価結果

現行どおり継続

意見・提案事項（抜粋）

- 安心安全な給食の提供はどの子にとっても望ましい。衛生面の注意点検や施設の維持管理、老朽化を改善し、温かい給食を提供していただきたいと思う。
- 学校における学習（指導）の連携をさらに深めてほしいと思う。
- 自校給食からセンターへの移行に伴い「食」の意識、体験の機会が乏しくならないような工夫、教育現場との連携をお願いしたい。調理員の作業風景や香りを五感で感じることによる「食べること」への感謝につながり、教育につながるのではと思い、何らかの形で補償が必要ではないかと思う。
- 子供たちに人気のレシピなどを教えていただきたい。
- 食育の観点から栄養士や作っている方の話を聞く機会を設けてはどうか。
- メニュー決定の機会をなるべく多くの子供ができるよう工夫してほしい（作る苦勞がわかり愛着がわくのではないか）

③公民館講座運営事業（友部公民館）

評価結果

改善し、継続

意見・提案事項（抜粋）

- コロナ禍にあり、運営の工夫が必要ななかオンライン講座の取り組みは素晴らしい。
- 講座は工夫されていて、参加してみたいと思った講座があげられていた。多くの市民が積極的に参加できる工夫を考えてほしい。
- 幅広い年代層が利用できるよう従来の講座、専門的講座、オンライン講座の幅広い実施を願います。
- オンライン講座の効果と実体がわかりづらい点について申し込み制のクローズドにてアンケートや実体の把握をする必要がある。
- 公民館をもっとオープンな身近な存在としての社会教育施設場所にしてほしい。子供が興味をもって講座に行ければ一緒に参加できるのでさらなる検討をお願いしたい。

④かさま陶芸の里ハーフマラソン大会事業（スポーツ振興課）

評価結果

現行どおり継続

意見・提案事項（抜粋）

- ますますの発展を期待したい。この事業の輪を県内国内国際的に広げていけるといい。
- 県外の参加者も多いとのことで宿泊や観光を伴う参加者を全国から集めることに経済的な振興に寄与すると感じた。笠間市の魅力発信に結びつくと思うので継続を希望する。
- 地域の特性を活かしたマラソン大会は今後も増加すると思うので、県内外へのPRの方法を工夫するとよいと感じた。
- 引き続き愛される大会を目指してほしい
- 参加者のコメントが好意的なものが多く大会の良さが伝わる。笠間焼のプレゼントもよい。

⑤スポーツ推進委員活動支援事業（スポーツ振興課）

評価結果

改善し、継続

意見・提案事項（抜粋）

- これからの笠間市のスポーツ事業を支援してくれる若者を増やす。学校の部活動が地域部活動に移行するが、地域の部活動に参加している高校生、大学生も社会人になった折にスポーツ推進委員に参加してもらえるような長期的な見直し・改善をお願いしたい。本来の目的に沿った活動がなされるようスポーツ事業への協力以外に何ができるのか検討してほしい。
- 委員の育成の場があっても良いのではないか。
- 子供と保護者も一緒に学べる機会作りが必要ではないか。
- 委員の若返りをぜひはかってほしい。
- 64年前に発足した制度が現在も形骸化して残っている状況は適切ではない。存続が必要なのであれば、事業の目的やあり方を明確にし改革をはかっていただきたい。

- 他市町村との課題の共有をしたり、委員の活動の周知の広報の機会を設けてはどうか。
- 委員のみではなくプロの指導をいただくのはどうか。予算的に難しいのか。

⑥成人式事業（生涯学習課）

評価結果

現行どおり継続

意見・提案事項（抜粋）

- 各自治体での例として開催単位を学校区にし、地域の人にも祝ってもらう取り組み、記念作品の作成、当人たちのアトラクション披露のステージ開催等、成人する人たちの様々なアイデアを柔軟に取り入れ感謝のおもいを持てる成人式を模索したらよいと思う。
- コロナ対策をしっかりと行い今後ともよりよい式となるよう実行委員会の支援をお願いしたい。
- 抗原検査キットは参加者の安心につながるので行ったほうが良い。
- 記念品の内容がとても良い。記念撮影は必要かと思う。

⑦筑波海軍航空隊展示運営事業（生涯学習課）

評価結果

改善し、継続

意見・提案事項（抜粋）

- 地域振興にもっと役立て、歴史遺産として今後とも大切にしていきたい。
- 戦争体験者の減少の中で、戦争について伝える機会や施設は非常に重要と思う。展示の方法内容企画のさらなる精査をお願いする。
- 平和教育の体験施設として市内県外への PR 等知名度を上げていきたい。
- 学校教育との連携を検討願う。学校向け PR（無料であること）の拡充をお願いする。
- 子供に親しみやすい名称を募集する。
- オンラインを活用して他県の方にも観てもらうように PR してはどうか。

⑧適応指導教室事業（学務課）

評価結果

現行どおり継続

意見・提案事項（抜粋）

- 学校への復帰と社会的自立を促す組織であってほしい。
- 学校への復帰だけが目標ではなく個々に合わせた自立を目標とするところがとても良い。
- 適切なサポートを提供し、工夫改善に取り組んでほしい。

- 送迎は良い取り組みと感じた。
- 十分な予算の拡充、児童生徒と保護者の心のケアをお願いしたい。
- 社会の変化に伴い登校できない子供を「自宅を離れて通う」ことを大切にしつつ学校を含めた卒業後の進路との連携協力体制の構築が必要と感じる。
- 適応指導教室を知らない方への活動内容の周知を図ってはどうか。

⑨GIGAスクール整備事業（学務課）

評価結果

現行どおり継続

意見・提案事項（抜粋）

- 現場の先生のご苦労は図りしれないと感じ、改めて感謝する。
- オンライン授業が想像以上にスムーズで驚いた。ICTを活用した学習方法を多様な生徒に拡充願いたい。
- 個々の学習レベルと特質に沿った指導が望まれる。
- ICT研究会、ICT指導員を活用し児童生徒に限らず教職員への知識と技能の拡充をする機会を作してほしい。
- ICT教育は教職員の力量、機材、指導法によって指導効果に差が出ると思われる。研修の充実と情報共有は急務と感じる。
- 家庭でも様々な差があり、定期的指導・相談サポート体制が必要と常々感じる。
- ICTが苦手な保護者に理解が深まるよう説明操作研修を設けてほしい。

9 事業個別評価書

別紙「令和3年度笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書」による。

令和3年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

事務事業名	図書館サービス事業		
担当部署	市立図書館（笠間・友部・岩間）	事業費	164,376千円
事務事業概要			
<p>図書館法に基づき、市民生活に必要な図書館資料（図書、記録その他必要な資料）を収集・整理・保存して、市民一般の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的として図書館サービスを展開している。</p> <p>生涯学習の時代に、市民誰もが学び、市民生活に生かせるよう各種資料をはじめ、必要な情報や学習機会の提供を行っている。</p> <p>またコロナ感染拡大防止として、パソコンやタブレットなどを利用し、いつでも、どこでも、来館せずに利用できる電子書籍の提供を本年1月から開始した。</p>			
取組内容	成果・効果		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館資料の収集（選定・発注・受入及び地域資料の収集等） ・ 図書館資料の整理・管理（データ作成・装備・修理・排架等） ・ 図書館資料の提供（貸出・相互貸借・予約・リクエスト、特集展示等） ・ 図書館資料の案内・調査（レファレンス） ・ 特集展示、ギャラリー展示 ・ 各種の学習情報及び機会の提供、地域情報の提供 ・ 利用促進に向けた事業の展開（おはなし会、ブックスタート、としょかん1年生など） ・ 利用促進に向けたイベントの実施（夏休み図書館クイズなど） ・ 音訳資料の作成及び提供（ボランティア） ・ 学校との連携（資料の団体貸出、図書館だよりの発行等） ・ スキルアップ研修（職員） 			
今後の課題・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者のニーズに合った資料の充実と効率的な図書館運営。 ・ 電子図書資料の利用促進 ・ 施設環境の整備 			

外部評価委員会の点検・評価	
事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か	適切 4名 ・ 概ね適切 1名 ・ 不適切 0名
事務事業の現状把握及び課題の認識	適切 5名 ・ 概ね適切 0名 ・ 不適切 0名
分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている	適切 5名 ・ 概ね適切 0名 ・ 不適切 0名
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり継続 3名 <input type="checkbox"/> 改善し、継続 2名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名
主な意見	<p>○コロナ禍においていろいろ工夫されている状況がわかった。</p> <p>○気軽にそして楽しい図書館になるよう事業の継続をしていただきたいと思う。</p> <p>○居場所としての利用目的の多様化に伴う環境整備の視点を新たなものにしていく必要がある。アンケート調査などで利用者のニーズを適切に把握する必要がある。</p> <p>○電子図書館については高齢者も利用できる、利用したいと思える工夫があると良い。子供や高齢者の家庭へのフォローが望まれる。利用案内に利用の流れの記載、ミニ講座、専用チラシの作成したらどうか。</p> <p>○電子図書館の学校教育との連携。小中学生を中心に講習会を開催してみてもどうか。（学校にいながら図書館資料を利用できる）</p> <p>○音声ガイドを利用した際、音読み訓読みの間違いがあった。改善を希望する。</p>

令和3年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

事務事業名	給食管理事業		
担当部署	おいしい給食推進室	事業費	81,559千円
事務事業概要			
<p>安全で安心な学校給食を提供</p> <p>調理員等の健康管理の徹底と給食室・設備等の定期的な保守点検を行い、安全に調理ができるよう給食室の維持管理に努める。（事故防止と施設の延命）</p> <p>友部地区小学校主菜・副菜の提供 1,973食（小学校5校1,796食、教職員等177食）</p> <p>友部地区中学校主菜・副菜の提供 947食（中学校2校871食、教職員等76食）</p>			
取組内容		成果・効果	
<p>安全安心な給食提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理業務 <p>友部地区各小中学校自校調理方式給食室の維持管理、衛生管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・給食室設備修繕 <li style="width: 50%;">・給食室設備点検（年1回） <li style="width: 50%;">・給食室ボイラー設備点検（年1回） <li style="width: 50%;">・給食室調理機器点検（年1回） <li style="width: 50%;">・給食室設備清掃（年1回） <li style="width: 50%;">・ねずみ等防除（隔月） <li style="width: 50%;">・腸内病原菌細菌検査（月2回） <li style="width: 50%;">・ノロウイルス検査（年3回） <li style="width: 50%;">・衛生管理、食材検査（年2回検査、衛生講習会 年1回） <li style="width: 50%;">・給食用備品購入 <p>（成果・効果）</p> <p>給食室・設備の適正な維持管理や、給食室の衛生管理、調理員等の健康管理等を行うものであり、安全安心な学校給食の提供に結びついている。</p> <p>発育期にある児童生徒にバランスの取れた食事を提供し、健全な発達に資するとともに、生涯にわたり望ましい食習慣の形成や生活習慣病予防の理解が図られている。</p>			
今後の課題・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備等の維持管理上の問題で、給食が供給できないといった事態を招かぬよう保守点検に万全を期す。 ・安全安心なおいしい給食の提供を行う。 ・児童生徒数の減少、老朽化した機器（設備）の改修、入替え等に多額の予算が必要である等の課題があることから、学校給食センターへの移行について検討を行っていく。 			

外部評価委員会の点検・評価	
事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か	適切 3名・概ね適切 2名・不適切 0名
事務事業の現状把握及び課題の認識	適切 4名・概ね適切 1名・不適切 0名
分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている	適切 2名・概ね適切 3名・不適切 0名
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり継続 3名 <input type="checkbox"/> 改善し、継続 2名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名
主な意見	<p>○安心安全な給食の提供はどの子にとっても望ましいことです。衛生面の注意点検や施設の維持管理、老朽化を改善し、温かい給食を提供していただきたいと思う。</p> <p>○学校における学習（指導）の連携をさらに深めてほしいと思う。</p> <p>○自校給食からセンターへの移行に伴い「食」の意識、体験の機会が乏しくならないような工夫、教育現場との連携をお願いしたい。調理員の作業風景や、香りを五感で感じるにより「食べること」への感謝につながり、教育につながるのではと思ひ、何らかの形で補償が必要ではないかと思う。</p> <p>○子供たちに人気のレシピなどを教えていただきたい。食育の観点から栄養士や作っている方の話を聞く機会を設けてはどうか。</p> <p>○メニュー決定の機会をなるべく多くの子供ができるよう工夫してほしい。（作る苦勞がわかり愛着がわくのではないか）</p>

令和3年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

事務事業名	公民館講座運営事業（友部）		
担当部署	友部公民館	事業費	214千円
事務事業概要			
市民の教養の向上や健康増進等を図れるような各種講座を開設し、生活文化の振興や社会福祉の増進に寄与することを目的とするため、同事業を実施した。			
取組内容		成果・効果	
<p>○令和2年度実績（友部公民館）</p> <p>かさま志民講座： 5講座（延べ13回） 受講者 延べ175人</p> <p>かさま志民オンライン講座： 5講座 視聴数 延べ2,923回</p> <p>子ども対象事業： サマースクール 1回 受講者 11人</p>			
今後の課題・方向性			
<p>昨年度から見直し実施した「かさま志民大学」は、新型コロナウイルス感染症の影響でこの1年半十分な活動が出来ていないことから、コロナ感染症収束後も引き続き「かさま志民大学」を継続実施していく。</p> <p>また、ICTを活用したオンラインによる生涯学習講座の実施により、新たな生涯学習機会の提供を図る。</p>			

外部評価委員会の点検・評価	
事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か	適切 1名 ・ 概ね適切 4名 ・ 不適切 0名
事務事業の現状把握及び課題の認識	適切 3名 ・ 概ね適切 2名 ・ 不適切 0名
分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている	適切 3名 ・ 概ね適切 2名 ・ 不適切 0名
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行どおり継続 2名 <input checked="" type="checkbox"/> 改善し、継続 3名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名
主な意見	<p>○コロナ禍にあり、運営の工夫が必要ななかオンライン講座の取り組みは素晴らしい。参加してみたいと思った講座があげられていた。多くの市民が積極的に参加できる工夫を考えてほしい。</p> <p>○オンライン講座はとても良い取り組みだと思いう。幅広い年代層が利用できるよう従来の講座、専門的講座、オンライン講座の幅広い実施を願います。</p> <p>○オンライン講座の効果と実体がわかりづらい点について、申し込み制のクローズドにてアンケートや実体の把握をする必要がある。</p> <p>○公民館をもっとオープンな、身近な存在としての社会教育施設場所にしてほしい。子供が興味を持つような講座を行って頂ければ一緒に参加できるので、さらなる検討をお願いしたい。</p>

令和3年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

事務事業名	かさま陶芸の里ハーフマラソン大会事業					
担当部署	スポーツ振興課	事業費	15,016千円			
事務事業概要						
新笠間市誕生（合併）を記念し、生涯スポーツの推進と地域振興を目的に「かさま陶芸の里マラソン大会」として始まった。※合併前、旧笠間市では「笠間シティマラソン大会」、旧友部町では「友部健康マラソン大会」を開催						
取組内容			成果・効果			
<p>【開催期日】令和2年12月20日（日） 【会場】笠間芸術の森公園イベント広場</p> <p>【種目】ハーフマラソン（公園～笠間市街～公園外周～中市原～友部駅北口折返し）</p> <p style="padding-left: 20px;">※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、県内居住者700名に限定し、2km（小学生・親子）・3km（中学生）・5km（一般）は中止とした。</p> <p>【主催】市・市教育委員会・茨城陸上競技協会（主管）・市体育協会・大会実行委員会</p> <p>【後援】県・県教育委員会・笠間観光協会ほか 【協賛】水戸信用金庫ほか46企業・団体</p> <p>【大会までの主な流れ】6・8月…実行委員会, 9月中旬～10月中旬…エントリー受付, 11月下旬…競技役員打合せ会議, 12月初旬…係員説明会, 3月…実行委員会</p> <p>【競技役員】茨城陸上競技協会…47名</p> <p>【大会係員】市職員…272名, 体育協会…72名, スポーツ推進委員…20名, スポ少…35名, 一般ボランティア…48名, 安協…40名, 合計487名</p> <p>【参加者の状況】</p>						
区 分		平成28年度 (第11回)	平成29年度 (第12回)	平成30年度 (第13回)	平成31年度 (第14回)	令和2年度 (第15回)
市内	小・中	1,680	1,582	1,549	1,553	—
	一 般	316	320	269	243	42
	計	1,996	1,902	1,818	1,796	42
市外	小・中	381	362	326	247	—
	一 般	2,873	2,748	2,660	2,295	711
	計	3,254	3,110	2,986	2,542	711
合計	小・中	2,061	1,944	1,875	1,800	—
	一 般	3,189	3,068	2,929	2,538	753
	合 計	5,250	5,012	4,804	4,338	753
今後の課題・方向性						
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策 ・ハーフマラソンコースの日本陸連公認期間が令和5年度に更新時期となることから、市街地中心としたコースへの変更等について検討する。 ・現在、12月第3週で開催しているが、より良い開催時期への変更について検討する。 						

外部評価委員会の点検・評価	
事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か	適切 5名・概ね適切 0名・不適切 0名
事務事業の現状把握及び課題の認識	適切 5名・概ね適切 0名・不適切 0名
分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている	適切 5名・概ね適切 0名・不適切 0名
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり継続 4名 <input type="checkbox"/> 改善し、継続 1名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名
主な意見	<p>○ますますの発展を期待したい。この事業の輪を県内国内国際的に広げていっていただけたらいいと思う。</p> <p>○県外の参加者も多いとのことで、宿泊や観光を伴う参加者を全国から集めることに、経済的な振興に寄与すると感じた。笠間市の魅力発信に結びつくと思うので継続を希望する。</p> <p>○地域の特性を活かしたマラソン大会は今後も増加すると思うので、県内外へのPRの方法を工夫するとよいと感じた。引き続き愛される大会を目指してほしい。</p> <p>○参加者のコメントが好意的なものが多く大会の良さが伝わる。笠間焼のプレゼントも良い。</p>

令和3年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

事務事業名	スポーツ推進委員活動支援事業		
担当部署	スポーツ振興課	事業費	493千円
事務事業概要			
<p>委員制度は、64年前の1957年の文部事務次官通達により発足し、1961年制定「スポーツ振興法第19条」において市区町村教育委員会任命の非常勤公務員として法的に位置づけられ、スポーツ振興及び住民へのスポーツの実技指導や助言を行うことと定められた。全国1,742市区町村（内17市町村が諸事情により不設置）において約5万名の委員が委嘱されている（2016年時点）。</p> <p>市では、委員任期2年、現在は令和2～3年度任期29名（男性18名、女性11名）が活動中であり、当事業は、その活動を支援するものである。委員はスポーツ愛好者且つ指導員として活躍する者も多く、豊富なスポーツ知識と経験を活かした市民に対するスポーツの実技指導のほか、行政機関やスポーツ団体等が行う事業への協力、その他スポーツに関する指導等を行っている。</p>			
取組内容		成果・効果	
<p>【市スポーツ事業等への派遣・協力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（3・7月）東京2020聖火リレー関連事業への協力 【R2新規】 ・（5月）笠間市長杯スナッグゴルフ大会への協力 【R2新規】 ・（6～11月）公民館講座への講師派遣協力 （R2中止） ・（7～8月）夏休み児童クラブ教室への講師派遣協力 （R2中止） ・（10月）笠間市ふれあいスポーツの集いへの講師派遣協力 （R2中止） ・（12月）かさま陶芸の里ハーフマラソン大会への協力 【規模縮小により実施】 ・（1月）県下中学校交歓笠間市駅伝大会への協力 （R2中止） <p>【研修会の実施・参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（通年）水戸地区及び県主催研修会への参加 （R2中止） ・（通年）市の推進委員独自の研修会の実施 （R2中止） ・（6月・11月）全国及び関東研究大会への参加 （R2中止） <p>※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により研修会・スポーツ大会が相次いで中止となり活動の場が制限されたが、スナッグゴルフ大会などの新規事業を実施し、コロナ禍でも可能な限りの委員活動を推進した。</p>			
今後の課題・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ・委員の高齢化が著しく、若い世代への委員委嘱が必要であるが、人材確保が困難である。 （現委員の約4割が60歳以上。若い世代は委員活動時間確保が難しいと考える傾向があり、スポーツ経験者且つ委員活動への熱意がある適任者確保が困難な状況。） ・現在は、市（事務局）主導により市のスポーツ事業への協力や各種研修会への参加が主な活動内容となっているが、今後も委員主体の自立した活動を促していきたい。 			

外部評価委員会の点検・評価	
事務事業の目的及び達成状況を測る指数(お適切か)	適切 1名・概ね適切 3名・不適切 1名
事務事業の現状把握及び課題の認識	適切 4名・概ね適切 1名・不適切 0名
分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている	適切 2名・概ね適切 2名・不適切 1名
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行どおり継続 1名 <input checked="" type="checkbox"/> 改善し、継続 3名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 1名
主な意見	<p>○これからの笠間市のスポーツ事業を支援してくれる若者を増やす。学校の部活動が地域部活動に移行するが、地域の部活動に参加している高校生、大学生も社会人になった折に、スポーツ推進委員に参加してもらえようような、長期的な見直しや改善をお願いしたい。本来の目的に沿った活動がなされるよう、スポーツ事業への協力以外に何ができるのか検討願います。</p> <p>○委員の育成の場があっても良いのではないかと。子供と保護者と一緒に学ぶ機会作りが必要ではないかと。委員の若返りをぜひ図ってほしい。</p> <p>○64年前に発足した制度が、現在も形骸化して残っている状況は適切ではない。存続が必要なのであれば、事業の目的やあり方を明確にし改革を図ってほしい。</p> <p>○他市町村との課題の共有をしたり、委員の活動の周知の広報の機会を設けてはどうか。</p> <p>○委員のみではなくプロの指導をいただくのはどうか。予算的に難しいのか。</p>

令和3年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

事務事業名	成人式事業		
担当部署	生涯学習課	事業費	5,600千円
事務事業概要			
<p>社会的、法的に大人になったことを祝福するとともに、成人としての自覚を高め、自ら生き抜こうとする青年を励ますため、成人式を実施している。</p> <p>開催日時は、例年、『成人の日』の前日である日曜日の午前中とし、会場は笠間市民体育館である。</p> <p>該当者への周知は、市内に住所を有する方に通知を郵送している。市外県外に居住している方でも、参加を希望する方には、個別に通知を郵送している。</p> <p>令和2年度成人式においては、新型コロナウイルス感染症対策のため、成人者、来賓、係員全員に対し、抗原検査キットを配布し、陰性の反応の方のみ入場を可能にした。</p>			
取組内容		成果・効果	
<p>5月 実行委員会の募集</p> <p>8月 第1回実行委員会開催 ※以降月1回のペースで開催</p> <p>9月 契約事務（会場設営など）</p> <p>11月 案内通知発送</p> <p>1月 前日リハーサル及び成人式実施</p>			
今後の課題・方向性			
<p>新型コロナウイルスの感染状況に応じて、感染防止対策を講じた上での実施をする必要がある。</p>			

外部評価委員会の点検・評価	
事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か	適切 4名 ・ 概ね適切 1名 ・ 不適切 0名
事務事業の現状把握及び課題の認識	適切 4名 ・ 概ね適切 1名 ・ 不適切 0名
分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている	適切 4名 ・ 概ね適切 1名 ・ 不適切 0名
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり継続 4名 <input type="checkbox"/> 改善し、継続 1名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名
主な意見	<p>○各自治体での例として、開催単位を学校区にし地域の人にも祝ってもらう取り組み、記念作品の作成、当人たちのアトラクション披露のステージ開催等、成人する人たちの様々なアイデアを柔軟に取り入れ、感謝の思いを持てる成人式を模索したら良いと思う。</p> <p>○コロナ対策をしっかり行い、今後ともよりよい式となるよう実行委員会の支援をお願いしたい。抗原検査キットは参加者の安心につながるので行ったほうが良い。</p> <p>○記念品の内容がとても良い。記念撮影は必要かと思う。</p>

令和3年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

事務事業名	筑波海軍航空隊展示運営事業		
担当部署	生涯学習課	事業費	5,711千円
事務事業概要			
<p>太平洋戦争末期に特攻隊員として多くの若者を戦場に送り出した筑波海軍航空隊があった笠間市が、旧筑波海軍航空隊司令部庁舎を保存し、並びに特攻隊員を主とした当時の関係者の遺品や資料等を保存し、及び展示することにより、歴史への理解を深め、世界の恒久平和の実現に役立てるとともに、地域の教育及び文化の向上並びに地域の振興に寄与する。</p>			
取組内容		成果・効果	
<p>様々な戦争体験の記憶・資料を集め記念館において公開。期間限定で企画展や講演会を開催。館内に売店コーナーを設営し、笠間市や茨城県の特産品やオリジナルグッズの販売を行っている。</p>			
	【企画展】	【講演会】	【入館者数】
平成30年度	4回	3回	19,042人
令和元年度	3回	1回	17,809人
令和2年度	3回	0回	6,658人
今後の課題・方向性			
<p>司令部庁舎については、老朽化による雨漏り等があり、修繕工事が必要であるため修繕を行っていく。指定文化財に認定されている、建物であるため老朽化が進み建物の保存が不可能にならないように保存・活用を行っていく。</p> <p>今後更なる歴史への理解を深め、教育及び文化の向上並びに地域振興を目的に、今後も管理運営を継続していく。</p>			

外部評価委員会の点検・評価	
事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か	適切 3名 ・ 概ね適切 2名 ・ 不適切 0名
事務事業の現状把握及び課題の認識	適切 3名 ・ 概ね適切 2名 ・ 不適切 0名
分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている	適切 1名 ・ 概ね適切 4名 ・ 不適切 0名
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行どおり継続 2名 <input checked="" type="checkbox"/> 改善し、継続 3名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名
主な意見	<p>○地域振興にもっと役立て、歴史遺産として今後とも大切にしていきたい。</p> <p>○戦争体験者の減少の中で、戦争について伝える機会や施設は非常に重要と思う。展示の方法、内容、企画のさらなる精査をお願いしたい。</p> <p>○平和教育の体験施設として、市内県外へのPR等知名度を上げていただき、学校教育との連携を検討願います。学校向けPR（無料であること）の拡充をお願いします。</p> <p>○子供に親しみやすい名称を募集する。オンラインを活用して他県の方にも観てもらおうようにPRしてはどうか。</p>

令和3年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

事務事業名	適応指導教室事業		
担当部署	学務課	事業費	13,930千円
事務事業概要			
<p>学校生活への不安,引きこもり等の予防や社会自立を目的とし,専門スタッフによるカウンセリングや学習支援、集団・体験活動を通して,不登校児童・生徒の学校復帰のための援助・指導をおこなう機関が必要であったため設置した。</p>			
取組内容		成果・効果	
<ul style="list-style-type: none"> ・ (毎日) 一人一人の学習計画をもとにした学習支援活動・・・学力の定着, 学習の習慣化 ・ (定期) 植物体験活動の実施 (花・野菜の栽培)・・・植物の発芽や成長を通して, 達成感を体験 ・ (毎日) 体育的活動の実施 (卓球)・・・体力の維持, スポーツ活動におけるルールの遵守 ・ e スポーツの実施 ・ (年1回) 遠足 (集団活動) の実施・・・室外活動における集団生活のルール、道徳心を身につける 			
今後の課題・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 入室児童生徒の通室状況 (出席日数) の増加 ・ 入室児童生徒の学校への復帰 ・ 入室児童生徒の学力の保証 ・ 通室保護者との連携 			

外部評価委員会の点検・評価	
事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か	適切 5名 ・ 概ね適切 0名 ・ 不適切 0名
事務事業の現状把握及び課題の認識	適切 5名 ・ 概ね適切 0名 ・ 不適切 0名
分析を踏まえて, 論理的な方向性が選択されている	適切 5名 ・ 概ね適切 0名 ・ 不適切 0名
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり継続 5名 <input type="checkbox"/> 改善し, 継続 0名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名
主な意見	<p>○学校への復帰と社会的自立を促す組織であってほしいが, 学校への復帰だけが目標ではなく, 個々に合わせた自立を目標とするところがとても良い。</p> <p>○適切なサポートを提供し, 工夫改善に取り組んでほしい。送迎は良い取り組みと感じた。</p> <p>○社会の変化に伴い, 登校できない子供を「自宅を離れて通う」ことを大切にしつつ, 学校を含めた卒業後の進路との連携協力体制の構築が必要と感じる。</p> <p>○適応指導教室を知らない方への活動内容の周知を図ってはどうか。</p>

令和3年度 笠間市教育委員会外部評価対象事業個別評価書

事務事業名	GIGA スクール整備事業		
担当部署	学務課	事業費	443, 177千円
事務事業概要			
<p>文部科学省は、全国の児童・生徒1人に1台の端末と、高速大容量の通信ネットワークなどを整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、個別最適化された創造性を育む教育が受けられるよう「GIGA スクール構想」を打ち出した。そのため、笠間市でも国の施策の実現に向け、「GIGA スクール構想」に取り組んだ。</p>			
取組内容		成果・効果	
<p>・児童・生徒向けの1人1台タブレット端末と、各小・中・義務教育学校に無線LAN, アクセスポイントの整備、大型掲示装置, 学習系システムを導入し、学習の個別最適化に必要な環境整備を行った。</p> <p>○タブレット端末 iPad 3,240台 chromebook 2,638台</p> <p>○大型掲示装置 238台</p> <p>・端末の活用にあたり、「タブレット端末貸付規程」の策定とともに、子どもたちが学校で使うときの約束や注意事項、家庭で使うときのルールづくりを行った。</p> <p>これにより、「いつでも」「どこでも」「だれとでも」学ぶことができ、子どもたち一人ひとりに適した学びの環境が整備できた。</p>			
今後の課題・方向性			
<p>・子どもたちがICTを適切・安全に使いこなせるよう情報活用能力の育成</p> <p>・ICT機器を効果的に活用した授業が実践できるよう教員の指導力向上</p>			

外部評価委員会の点検・評価	
事務事業の目的及び達成状況を測る指数は適切か	適切 5名 ・ 概ね適切 0名 ・ 不適切 0名
事務事業の現状把握及び課題の認識	適切 5名 ・ 概ね適切 0名 ・ 不適切 0名
分析を踏まえて、論理的な方向性が選択されている	適切 5名 ・ 概ね適切 0名 ・ 不適切 0名
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり継続 5名 <input type="checkbox"/> 改善し、継続 0名 <input type="checkbox"/> 休止 0名 <input type="checkbox"/> 廃止 0名
主な意見	<p>○現場の先生のご苦労は回りしれないと感じ、改めて感謝する。</p> <p>○オンライン授業が想像以上にスムーズで驚いた。ICTを活用した学習方法を多様な生徒に拡充願いたい。</p> <p>○個々の学習レベルと特質に沿った指導が望まれる。</p> <p>○ICT研究会, ICT指導員を活用し、児童生徒に限らず教職員への知識と技能の拡充をする機会を作ってほしい。</p> <p>○ICT教育は教職員の力量, 機材, 指導法によって指導効果に差が出ると思われる。研修の充実と情報共有は急務と感じる。</p> <p>○家庭でも様々な差があり、定期的指導・相談サポート体制が必要と常々感じる。</p> <p>○ICTが苦手な保護者に理解が深まるよう、説明や操作研修を設けてほしい。</p>

参考資料

評価事業に関する笠間市教育振興基本計画指標

(1) 評価番号1 図書館サービス事業

指標名	H28 基準値	H29 実績	H30 実績	R元 実績	R2 実績	R3 目標	具体的な取組
図書館利用新規登録者数	2,140	2,160	2,244	1,922	1,094	2,210	としょかん1年生事業で新1年生の登録を促進した。
図書館蔵書点数	582,995	575,849	587,439	589,688	586,068	653,000	利用者のニーズに対応できる資料の整理保存を実施した。
図書館資料案内件数(レファレンス)	6,007	7,887	6,480	9,178	5,760	5,500	分かりやすい検索・配置を整備した。
公式ツイッターフォロワー数	1,953	2,233	2,785	2,489	2,667	3,800	イベントや資料等に関する情報発信に努めた。
団体貸出数	9,942	12,986	14,025	16,122	17,615	11,000	資料の充実を図り、施設や児童クラブ等に資料の提供を実施した。
学校等への貸出点数	6,379	5,036	4,800	4,505	5,261	4,800	資料の充実を図り、授業に必要な資料の提供を実施した。
おはなし会・読書フェスティバル参加者数	2,368	2,194	2,250	2,383	545	2,300	定期的におはなし会を実施した。
年間50冊以上の本を読んだ児童の割合(小4～6年生)	68.4	70.0	72.0	61.3	50.1	75.2	学校との連携による児童の読書の習慣化を図った。
図書館入館者数	599,609	498,056	479,773	495,679	314,446	625,000	特集やイベント等を実施して入館者増加を図った。
ギャラリー利用団体数(稼働率)	100.0	100.0	100.0	97.2	69.4	100.0	ギャラリーや関係資料提供により、各団体の活動を支援した。

(2) 評価番号3 公民館講座運営事業(友部)

指標名	H28 基準値	H29 実績	H30 実績	R元 実績	R2 実績	R3 目標	具体的な取組
公民館利用者数	160,000人	131,700人	143,061人	148,042人	55,241人	195,000人	各種講座の開設や学習機会、学習情報の充実、強化を図ることで、公民館利用者の増加を狙う
公民館講座数	54講座	53講座	41講座	44講座	32講座 オンライン含	57講座	各種講座数の増加を狙う
公民館講座数参加人数	4,500人	3,657人	3,486人	2,995人	608人	4,700人	各種講座への参加者の増加を狙う

(3) 評価番号4 かさま陶芸の里ハーフマラソン大会事業

指標名	H28 基準値	H29 実績	H30 実績	R元 実績	R2 実績	R3 目標	具体的な取組
スポーツ大会・教室 参加者数	9,025人	6,130人	7,767人	5,920人	1,824人	10,000人	ハーフマラソン大会、中 学駅伝、市長杯スナッグ ゴルフ大会など

(5) 評価番号8 適応指導教室事業

指標名	H28 基準値	H29 実績	H30 実績	R元 実績	R2 実績	R3 目標	具体的な取組
不登校（30日以上）児童の 割合	0.50%	0.84%	1.16%	1.16%	0.93%	0.0%	支援室の個別指導を通 して、学校復帰をめざす
不登校（30日以上）生徒の 割合	3.00%	3.79%	3.21%	5.41%	4.91%	0.0%	支援室の個別指導を通 して、学校復帰をめざす

(6) 評価番号9 GIGAスクール整備事業

指標名	H28 基準値	H29 実績	H30 実績	R元 実績	R2 実績	R3 目標	具体的な取組
タブレットPC(各校40台)の 整備率	0%	0%	11.76%	11.76%	100%	100%	市内全児童・生徒に 1人1台端末配布
校内無線LANの整備率	0%	0%	11.76%	11.76%	100%	100%	児童・生徒が1人1 台端末を活用するた め校内無線LANを 整備

教育委員会の活動状況

(1) 教育委員の選任状況（令和3年6月24日現在）

職名	氏名	備考
教育長	小沼公道	委員任期 R 3.4. 1 ~ R 6.6.23
教育長職務代理者	戸田浩二	委員任期 H 29.6.24 ~ R 7.6.23
委員	鳥羽田 信	委員任期 H 30.6.24 ~ R 4.6.23
委員	吉崎 静夫	委員任期 R 1.6.24 ~ R 5.6.23
委員	菊池 由美	委員任期 R 3.6.24 ~ R 6.6.23

(2) 教育委員会会議の開催状況

令和2年度 教育委員会会議開催状況

	定例会	臨時会	教育委員会協議会等
実施回数（回）	12	5	13
議案件数（件）	29	6	—
報告件数（件）	19	1	—

令和2年 4月28日（火） 第4回教育委員会定例会

審議案件

議案第27号 笠間市寺子屋事業開設要綱の一部改正について

報告案件

- 報告第1号 叙位・叙勲の推薦について
- 報告第2号 叙位・叙勲の推薦について
- 報告第3号 高齢者叙勲の推薦について
- 報告第4号 笠間市社会教育委員並びに公民館運営審議会委員の委嘱について
- 報告第5号 笠間市スポーツ推進委員の解職及び委嘱について

令和2年 5月20日（水） 第5回教育委員会定例会

審議案件

議案第28号 令和2年第2回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて

報告案件

- 報告第6号 笠間市教育支援委員会委員の委嘱及び任命について
- 報告第7号 笠間市教育支援委員会調査員の委嘱及び任命について
- 報告第8号 笠間市図書館協議会委員並びに笠間市子ども読書活動推進会議委員の任命について

報告第9号 令和2年第2回笠間市議会臨時会提出議案に同意することについて

令和2年 5月27日(水) 第4回教育委員会臨時会

審議案件

議案第29号 令和2年第2回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて

令和2年 6月23日(火) 第6回教育委員会定例会

審議案件

議案第30号 笠間市立学校管理規則の一部を改正する規則について

議案第31号 笠間市学校給食費取扱規則の一部を改正する規則について

議案第32号 笠間市スポーツ推進審議会委員の任命について

令和2年 7月17日(金) 第5回教育委員会臨時会

審議案件

議案第33号 令和3年度中・義務教育学校において使用する教科用図書並びに小・中義務教育学校特別支援学級(知的障害)において使用する教科用図書の採択について

議案第34号 令和2年第3回笠間市議会臨時会提出議案に同意することについて

報告案件

報告第10号 令和2年第3回笠間市議会臨時会提出議案に同意することについて

令和2年 7月28日(火) 第7回教育委員会定例会

審議案件

議案第35号 笠間市公民館運営審議会への諮問について

報告案件

報告第11号 叙位・叙勲の推薦について

報告第12号 叙位・叙勲の推薦について

令和2年 8月20日(木) 第8回教育委員会定例会

審議案件

議案第36号 令和2年第3回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて

令和2年 9月23日(水) 第9回教育委員会定例会

審議案件 なし

令和2年10月27日(火) 第10回教育委員会定例会

審議案件 なし

令和2年11月17日(火) 第11回教育委員会定例会

審議案件

- 議案第 37 号 令和 2 年度笠間市教育委員会外部評価報告書について
- 議案第 38 号 笠間市文化財保護審議会への諮問について
- 議案第 39 号 令和 2 年第 4 回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて

令和 2 年 1 月 27 日 (金) 第 6 回教育委員会臨時会

審議案件

- 議案第 40 号 令和 2 年第 4 回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて

令和 2 年 1 月 22 日 (火) 第 12 回教育委員会定例会

審議案件

- 議案第 41 号 笠間市日本遺産構成文化財サポート補助金交付要綱の制定について

報告案件

- 報告第 13 号 叙位・叙勲の推薦について
- 報告第 14 号 高齢者叙勲の推薦について
- 報告第 15 号 高齢者叙勲の推薦について

令和 3 年 1 月 26 日 (火) 第 1 回教育委員会定例会

審議案件

- 議案第 1 号 笠間市指定文化財の指定について

報告案件

- 報告第 1 号 高齢者叙勲の推薦について
- 報告第 2 号 笠間市資料館運営委員の解嘱及び委嘱について
- 報告第 3 号 笠間市スポーツ推進審議会委員の解任及び任命について

令和 3 年 2 月 16 日 (火) 第 2 回教育委員会定例会

審議案件

- 議案第 2 号 笠間市資料館運営委員会規則の一部を改正する規則について
- 議案第 3 号 笠間市学校給食納入業者支援事業補助金交付要綱の制定について
- 議案第 4 号 令和 3 年第 1 回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて
- 議案第 5 号 笠間市教育委員会教育長の辞職の同意について

報告案件

- 報告第 4 号 第 1 回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて

令和 3 年 3 月 15 日 (月) 第 1 回教育委員会臨時会

審議案件

- 議案第 6 号 校長の人事内申について

令和 3 年 3 月 16 日 (火) 第 3 回教育委員会定例会

報告案件

議案第 5 号 高齢者叙勲の推薦について

令和3年 3月18日(木) 第2回教育委員会臨時会

審議案件

議案第 7 号 令和3年度笠間市教育委員会事務局職員の人事異動について

令和3年 3月23日(火) 第3回教育委員会定例会

審議案件

議案第 8 号 笠間市立学校医及び学校歯科医の委嘱について

議案第 9 号 笠間市立学校運営協議会委員の委嘱及び任命について

議案第 10 号 市史研究員の委嘱について

議案第 11 号 地区の公民館長及び地区の公民館主事の任命について

議案第 12 号 笠間市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について

議案第 13 号 笠間市教育委員会公印規則等の一部を改正する規則について

議案第 14 号 笠間市立学校管理規則の一部を改正する規則について

議案第 15 号 笠間市立公民館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について

議案第 16 号 笠間市就学援助費支給要綱の一部改正について

議案第 17 号 笠間市教育支援室管理及び運営要領等の一部改正について

議案第 18 号 笠間市立学校処務規程等の一部を改正する訓令について

議案第 19 号 笠間市いじめ問題対策連絡協議会運営規則について

議案第 20 号 笠間市いじめ調査委員会運営規則について

(3) 教育委員会会議以外の活動(各種会議・研修会・学校訪問等)

令和2年4月	教職員辞令交付式 校長研修会 新任管理職研修会 新型コロナウイルス対策本部会議 学校訪問 教務主任研修会 ICT研修会 県教育委員会と市町村教育長協議会との意見交換会
5月	学校訪問 新型コロナウイルス感染症対策本部会議 学校訪問 校長研修会 資格検定委員会 茨城県市町村教育委員会連合会第3回理事会 ICT研究会 第1回こども育成支援センター研修会 反転授業研修会 学校事務共同実施協議会

6月	第1回市町村教育委員会教育長会議 第1回管内市町村教育委員会教育長等会議 新型コロナウイルス感染症対策本部会議 第1回教科用図書選定協議会 学校訪問 第1回教育支援委員会 管理訪問 ICT研究会 教育長職務代理者辞令交付式 社会教育委員並びに公民館運営審議会 校長研修会 第15回(通算63回)弘済会運営委員会 茨城県市町村教育長協議会理事会 教頭会研修会
7月	笠間陶芸大賞展実行委員会 ハーフマラソン実行委員会 寺子屋 開校式 新型コロナウイルス感染症対策本部会議 茨城県第4採択地区第2回教科用図書選定協議会 所課長訪問 管理訪問 茨城県いじめ問題対策連絡協議会 笠間市立図書館協議会及び子ども読書活動推進会議 「エトワ・カサマ」オープニングパーティー 校長研修会 コミュニティスクール研修会 ICT研修会 茨城県市町村教育長協議会・夏期研修会 資格検定委員会 笠間史談会総会並びに研究発表会 茨城アストロプラネッツとの協定書締結式 笠間市国際交流会総会 かさましこ日本遺産活性化協議会総会
8月	スナッグゴルフ親子大会 家庭教育学級担当者説明会並びに開級式 ICT研修会 第2回ハーフマラソン実行委員会 戦没者追悼式 教員採用試験二次試験対策研修会 学校長会(水難事故対策) 校長研修会 教育予算編成に関する要望書説明会 水難事故防止研修会 資格検定委員会 青少年相談員委嘱状交付式

	<p>キュビナ研修会</p>
9月	<p>水難事故防止研修会 第6回笠間市長杯スナッグゴルフ大会 所課長訪問 ホストタウン首長オンライン会議 管内教育委員会教育長等協議会 校長研修会 ICT研究会（オンライン） 道の駅起工式 ハーフマラソン記念品審査 市町村教育長協議会役員会（オンライン） コロナに関する研修会 スポーツ推進審議会</p>
10月	<p>所課長訪問 資格検定委員会 定期人事異動の意見聴取 体育協会褒賞式 管理訪問 A I型ドリル説明会 おもてなしキッズ開講式 「魅力ある学校づくり事業」 校長提案プレゼン NHK for school 研修会 民話動画上映会 第113回笠間の菊まつり 開場式 管内教育委員会人事情報交換会 市長と校長の意見交換会 校長研修会 外部評価委員会（1日目） 地区公民館あり方検討会答申 第2回市町村教育委員会教育長会議 茨城県陶芸美術館内覧会</p>
11月	<p>全国都市教育長協議会第4回常任理事会・理事会 管理訪問 助川公継先生講演会 理科自由研究成果発表会 加藤桜老公碑除幕式 おもてなしキッズ閉講式 校長研修会（オンライン） 市町村教育長等会議 検定委員会 総合教育会議 SDGs講演会 読み聞かせ・被爆体験講話 反転授業研修会 日本遺産推進シンポジウム</p>

	<p>読書をすすめる県民のつどい 人権講演会 iPad 研修会</p>
1 2 月	<p>「第3の居場所」フォローアップ研修会 第8回いばらきっ子郷土検定事業実行委員会 ハーフマラソン大会 総合教育会議 かさましこ企画展式典</p>
令和3年1月	<p>駅伝監督会議 笠間市成人式 2学期制検討委員会 校長研修会 働き方改革推進委員会 かさましこ日本遺産活性化協議会 笠間市教育研究会学校事務研究部研修会 関東地区教育長協議会令和2年度第2回理事会（オンライン） 教育委員・学校長合同コロナ対策会議 ICT活用教育研究会（オンライン）</p>
2月	<p>茨城県市町村教育長協議会冬期研修会（オンライン） 管内教育長等会議 学校長会 日本生産性本部との会談（オンライン） いじめ防止対策委員会・不登校対策会議 職員表彰選考会 地震対策会議 校長研修会 茨城県教育職員特別免許状審査会 ICT教育研究会 歴史フォーラム 総合教育会議 学力向上研修会 笠間市家庭教育学級実施報告会 ロイロノート研修会 辞令交付式 防災会議 学校警察連絡協議会</p>
3月	<p>学校訪問 タブレットデモ機説明会 「笠間陶芸大賞展」第2回実行委員会 日本遺産講演会 校長研修会 算数・数学オリンピック表彰式（オンライン） 関東大会出場表彰 スケートパーク開園式典 みなみ学園義務教育学校竣工式</p>

笠間市教育委員会外部評価委員会設置要綱

平成22年9月17日
教育委員会告示第16号

(設置)

第1条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定に基づき、笠間市教育委員会(以下「教育委員会」という)の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、第三者による点検及び評価を実施することにより、教育行政に対する透明性を確保するとともに、市民への説明責任を果たすため、笠間市教育委員会外部評価委員会(以下「委員会」という)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、教育委員会が実施する施策や事業等の点検及び評価を行う。

(組織)

第3条 委員会は、5人以内の委員で組織する。

2 委員は、教育に見識を有するもののうちから教育長が委嘱する。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選により選出する。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(任期)

第5条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、会議の議長となる。ただし、最初に行われる会議は、教育長が招集する。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 委員会の会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 委員長は、必要があると認めるときは、委員会において関係者の出席を求め、意見又は説明を聞くことができる。

5 委員会の会議は、公開とする。ただし、委員会の決定があったときは、非公開とすることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、学務課において処理する。

(委任)

第8条 この告示に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この告示は、公布の日から施行する。